



鯨山

R06.2.13 令和6年2月号①

〒327-0817 佐野市伊勢山町 1534 TEL 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>

如月、節分、立春を過ぎて、

新しい年2024年も1月が終わり、2月を迎えました。2月は如月（きさらぎ）とも呼ばれます。これは、寒さのために着物をさらに重ねることから「衣更着」、あるいは陽気がよくなり始めることから「気更来」など、複数の説があります。所説にあるように、寒さも厳しく先日のように大雪が降ることもあれば、日増しに日は長くなり春の到来を感じることもあります。本校の梅の木の蕾もだいぶ膨らみ、季節の変わり目を感じますが、寒さや乾燥による感染症の流行も見られますので、早寝早起きの生活リズムや朝の健康観察へのご協力よろしくお願いいたします。



うめの花
うめの花がさいたア
春だつてさ
沼に氷がはつても
やっぱり春だつてさ
春は風のおいで
わかるてさ
うめのつぼみがその風の
においを知つてさ
うめの花がさいたア
春だつてさ
耳のしもやけかゆくても
やっぱり春だつてさ

宮澤章一

また、6年生の教室では、子どもたちが作成した「卒業式まであと何日」の日めくりカレンダーも30日を切りました。進学への希望や不安を抱きながらも、残り少ない時間を大切に過ごしています。委員会や部活動で6年生と一緒に活動してきた5年生は、犬伏東小の最上級生となる自覚を高めつつあります。また、それ以外の学年でも、今の学年の総まとめと次の学年への心構えづくりに取り組んでおります。

○佐野産イチゴの生食で「いちご育」

JA 佐野様から市内の市立の学校に、佐野市産のイチゴ「とちあいか」の提供がありました。生のまま食するにあたり、アレルギー等の心配もありますので、冬休み前に食べる食べないの希望をとらせていただきました。本校では1月26日が提供の日となりましたが、市長、教育長、JA 佐野組合長、イチゴ生産者小林さんらが来校され、給食の時間に一緒にイチゴの生食を楽しみました。



市長らも子どもたちの列に並び自分の給食を配膳し、「とちあいか」2粒を水道で洗い席に着きました。そして、「いただきます」の前にイチゴの種類や特徴、生産過程や生産者の思いを伝える「いちご育」や、給食・放送委員会の児童によるイチゴに関する放送を行いました。給食では安全性の規制から、生の野菜や果物（みかん等の皮付きはOK）が給食として出されることはありません。今回のイチゴの生食も保護者の希望をとることや各自が自分の食べるイチゴの洗浄を行うこと等で実現したものです。食べ物への感謝や地元佐野市を学ぶ貴重な機会となりました。多くの皆様にご協力いただいたことに感謝申し上げます。



市長らも子どもたちの列に並び自分の給食を配膳し、「とちあいか」2粒を水道で洗い席に着きました。そして、「いただきます」の前にイチゴの種類や特徴、生産過程や生産者の思いを伝える「いちご育」や、給食・放送委員会の児童によるイチゴに関する放送を行いました。給食では安全性の規制から、生の野菜や果物（みかん等の皮付きはOK）が給食として出されることはありません。今回のイチゴの生食も保護者の希望をとることや各自が自分の食べるイチゴの洗浄を行うこと等で実現したものです。食べ物への感謝や地元佐野市を学ぶ貴重な機会となりました。多くの皆様にご協力いただいたことに感謝申し上げます。

○3年生・佐野市博物館利用学習

社会科の授業の一環として郷土博物館に行ってきました。昔の生活についての話を聞いたり、野良着を着る体験をしたりして今と昔の違いについて学習してきました。昔の紙幣や勉強机なども展示されており、子どもたちは興味をもって見学していました。

お湯を入れて使用する「湯たんぽ」についてのお話では、翌朝の冷えてしまった中のお湯も、植物にあげるなど利用して無駄にしない生活をしていたと聞いて、昔の人の生活の知恵に感心していました。休憩時間でも展示物を見る児童もいて、楽しみながら学習することができました。



○みんなで、めざせ10,000さつ!

読書郵便・本のおみくじ

本校では、豊かな感性と想像力を育てる質・量とも充実した読書活動を推進しています。その取組として、本を身近に感じたり、読書の楽しさを実感できるような企画を、年間を通して行っています。

1月15日からの「読書郵便」では、自分のお気に入りの本への思いをはがきにしたため、友だちに伝えました。図書室に設置したポストに投函されたはがきは、図書・掲示委員が郵便局員となって各学級に届けられました。思いのこもったはがきを受け取った子どもたちは、いつもなら自分から進んで手に取らない分野の本でも、目を輝かせて読んでいました。自分の興味ある世界が広がり、新しい自分や本の楽しさに触れたのではないのでしょうか。それらのはがきの一部は、図書室前に掲示され、多くの子どもたちに新しい本の世界を紹介しています。

2月1日からは、「本のおみくじ」が始まっています。新しい分野の本との出会いなどを通して、一人一人が1週間に1冊の本を読んでの「めざせ10,000さつ」を達成したいところです。



○家庭学習がんばろう週間

(2月12日(月)~16日(金))

北中学区小中連携事業の一つで、北中学校の定期テストの期間に合わせて実施しており、子どもたちに基本的な学習習慣を身に付けさせるための取組です。今年度も、一週間の生活スケジュール表を作成し、放課後の時間の使い方を定期的に見直しながら生活できるよう支援をしてきました。子どもたちは現在、次学年の「0(ゼロ)学期」の意識をもち、意欲的に学校生活を送っております。先週には、「家庭学習がんばろう週間チェック表」を配付いたしましたが、基本的な学習習慣の定着に向けて、ご協力よろしくお願いたします。



○お知らせ

4年1組担任のチャンドラー秋教諭ですが、2月11日に入籍をしましたので、お知らせします。